



エコチャレンジ2024

当社グループの事業と環境とは、製品の開発設計から資材調達・生産・販売・物流、そして使用・廃棄・リサイクルまでのライフサイクル全体を通して、また日頃の事業活動においても深い関わりを持っています。

当社グループでは、製品のライフサイクル、また事業活動全体が環境に与える影響を把握するよう努め、環境負荷低減に取り組んでいます。特に、使用済みタイルカーペットから再生された塩ビパウダー、ペットボトルから再生された原綿やポリエステルペレットなどの再生材料を積極的に使用するなど、環境にやさしい製品づくりを進めています。サステナビリティ推進のため環境配慮に重点を置き、「エコチャレンジ2024」の目標を掲げ、全グループで取り組んでいます。

エコチャレンジ2024

環境に関する行動目標として、エコチャレンジ2024を設定し、2021～2023年度3か年を行動期間として取り組みを進めています。

行動目標と2022年度実績

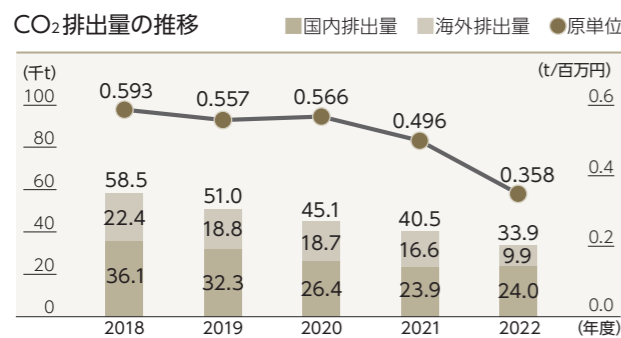
取り組み項目	指標	最終目標値	基準年度	2022年度目標値	2022年度実績	評価	
1	地球温暖化防止	CO ₂ 排出量の削減(使用エネルギー)	3%削減(原単位)	2020年	2%削減(原単位)	36.9%削減(原単位)	○
2	省資源	再生資源利用率の向上(国内主要工場※1)	3%向上	2020年	2%向上	24.5%向上	○
3	廃棄物の3R	産業廃棄物発生量の削減	3%削減(原単位)	2020年	2%削減(原単位)	19.1%削減	○
		再資源化率の向上	65%以上	—	65%以上	39.4%	△
		埋立処分率の低減	10%以下	—	10%以下	36.3%	△
4	環境汚染防止	大気汚染防止(N ₂ O排出量削減)	3%削減(原単位)	2020年	2%削減(原単位)	23.3%削減(原単位)	○
5	グリーン活動推進	事務用品のグリーン購入率向上(国内)	95%以上	—	95%以上	89.2%	△
6	製品のLCA評価促進※2		LCA評価18アイテム	—	12アイテム	40アイテム	○
7	環境に配慮した技術の開発促進※2		3件	—	2件	1件	△
	環境に配慮した製品の開発促進※2		9件	—	6件	7件	○
8	事業活動における生物多様性の保全活動		—	—	—	—	—

原単位：分母を連結売上高にして計算。
 排出係数：CO₂、N₂Oの排出係数は国内は温対法、海外は2006 IPCC Guidelines for National Greenhouse Gas Inventoriesに基づく各国の排出係数で算出。
 ※1 国内主要工場：住江テクノ(株)滋賀工場/奈良工場、帝人テクロス(株)、尾張整染(株)本社工場/石川工場
 ※2 目標値・実績値は2021～2022年度の累計。

2022年度実績

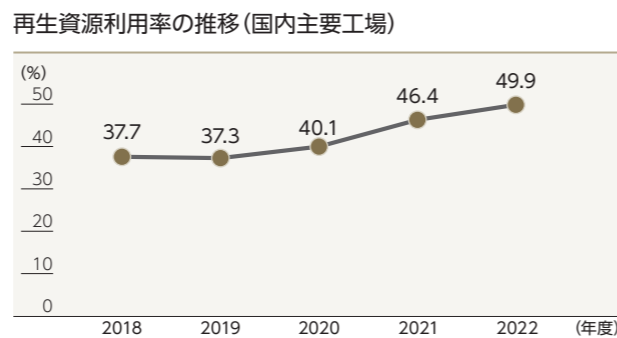
①地球温暖化防止

企業活動が地球温暖化に及ぼす影響をCO₂排出量で確認しています。



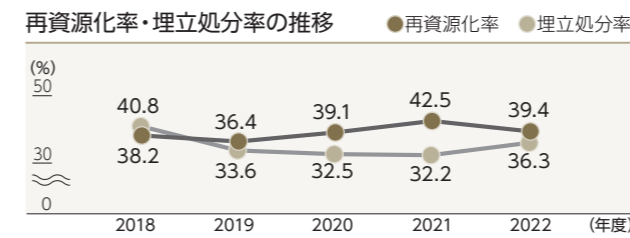
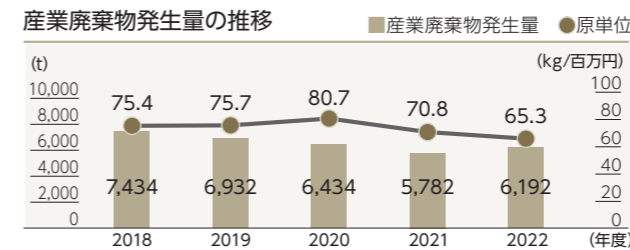
②省資源

再生資源を原材料に積極的に投入、省資源化を進めています。



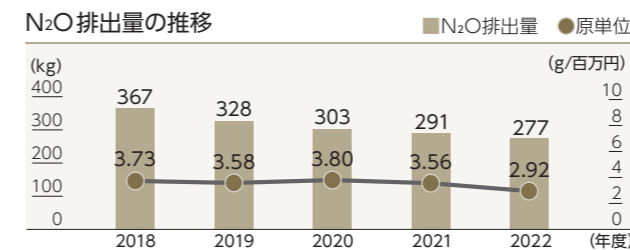
③廃棄物の3R

生産に投入される材料ロス削減や不適品の撲滅、また資源の有効活用など、廃棄物発生抑制に努めています。



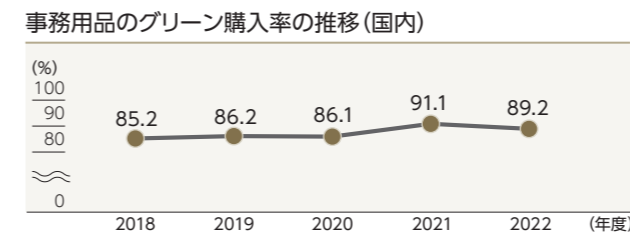
④環境汚染防止

大気汚染物質の代表として一酸化二窒素(N₂O)の排出量を記載しています。



⑤グリーン活動推進

資源採取から廃棄に至る、ライフサイクル全体にわたる環境負荷の低減を考慮した物品などの、積極的な購入に努めています。



⑥製品のLCA※評価促進

2015年度より自社内で製品のLCA評価を行っています。2021～2022年度で40アイテムを評価しました。

※LCA：製品の原材料調達から、生産、流通、使用、廃棄に至るまでのライフサイクルにおける投入資源、環境負荷およびそれらによる地球や生態系への潜在的な環境影響を定量的に評価する手法、ライフサイクルアセスメントの略称。

⑦環境に配慮した技術・製品の開発促進

●環境に配慮した製品の開発促進

- 1) パイルとバックングにリサイクル材を使用した再生材比率81%のタイルカーペット「ECOS NEO™」
- 2) リサイクルウール50%使用ラグ「ソライロ」
- 3) 再生チップを使用した環境対応型原糸「スミトロン®」を活用した自動車用シート表皮材「エコニックス」
- 4) バックングをECOS®仕様化した鉄道車両向けタイルカーペット「ECOS-US3000」、[ECOS-MD8500]

⑧事業活動における生物多様性の保全活動

●取り組み方針

- 1) 事業活動が生物多様性に及ぼす影響の低減
 - 生産事業所内および周辺の生物多様性のモニタリング調査を行う。
 - 植樹を行う場合は、外来種ではなく、地域に自生している在来種を使う。
 - 事業所周辺の清掃を定期的に行い、草刈りなどで環境を整備する。
 - 生物資源を原材料として使用する場合は、持続可能性を確認する。
 - リサイクル原材料を使用した製品開発とリサイクルシステムの構築を積極的に行う。
 - 環境マネジメントシステムに生物多様性の保全活動を組み入れる。
 - 事業所ごとに取り組める新たな生物多様性の保全活動を推進する。
- 2) サプライチェーン全体での生物多様性への影響低減に向けたお取引先様への活動
 - グリーン調達ガイドラインで、お取引先様への生物多様性保全活動の協力を依頼する。

3) 社会貢献活動

- 森林保全活動を行う団体を支援する。
- みどりの募金活動に協力する。

●取り組み実績

事業所ごとに特色のある活動を実施しています。

事業所	取り組み
住江織物(株)奈良事業所	岡崎川周辺の桜並木を遊歩道に整備する「安堵桜友会」に参加。
住江テクノ(株)滋賀工場	工場敷地内で「ささゆり」を増殖。
尾張整染(株)本社工場	「一宮平成ホテルの会」賛助会員。